

全社教育用 カスタマイズ対応コンテンツ



環境を考える、
最初の一步。

さまざまな環境問題に対して、企業がどう取り組むべきかを知りたい！

環境マネジメント —ISO14001と企業責任—

標準学習時間:2時間

2.4 環境活動の潮流とキーワード

環境活動の潮流は、1970年代の特定地域の公害防止、地球の視点からの環境保全、さらに持続的発展を求めた環境マネジメントの強化に移り変わってきました。

公害という言葉を使っているときは、被害を与える側に向けられるものであり、環境保全という言葉を使っているときは、人間が被害を受ける側の環境被害を減らすことに目を向けるようになり、環境マネジメントを講じたのは、地球規模の持続可能性を確保するようになりました。

そして今、環境マネジメントを経営方針の一環とする、環境経営を回すまでになっています。

今後は、環境関連法規制の強化、環境認証の導入などに対応し、利益追求と両立させること、さらにそれらの環境活動が利益を得ることが企業の成長を左右することになります。

Copyright © NEC Learning, Ltd. 2009

《動作環境》

Windows版 Internet Explorer 6 または7

◆主な学習内容

第1章 地球環境問題のキーワード

今地球で何が起きているか
『地球人』に求められている環境対策
人間社会における物質循環
各種環境問題
京都議定書に対する各国の取り組み
持続可能な社会の実現は可能か？

第2章 企業に求められる環境活動

社会が企業に求めていること
環境配慮型製品・サービス
環境活動の潮流とキーワード
排出量取引
エコファンド・SRIファンド
グローバルに拡大する製品環境規制

第3章 環境に関わる主な法令

環境基本法・循環型社会形成推進基本法
廃棄物処理法
資源有効利用促進法
容器包装リサイクル法
家電リサイクル法

食品リサイクル法
建設リサイクル法
自動車リサイクル法
グリーン購入法
地球温暖化対策推進法
省エネルギー法
環境教育推進法
環境配慮活動促進法
エコツーリズム推進法

第4章 ISO14001

ISO14001規格制定の背景
ISO14001を取得する意義
環境マネジメントシステムの構成
環境マネジメントシステム導入のメリット
認証取得に向けて整備すること
「認証は取ったけれど」にしないために

第5章 サンカク弁当における環境管理体制

(架空会社を用いた事例)
事例A お弁当の容器を変えたい
事例B お弁当の売り方を変えたい

環境関連法令について、さらに知識を深めたい！

環境法令の基礎知識

標準学習時間:3時間

環境基本法
環境基本法の経緯と目的

公害対策基本法および自然環境保全法の一部に代わり、環境保全の問題に総合的に対応する基本的考え方を定めた法律が環境基本法です。我が国に数多く定められている環境に関する法律の根幹です。

環境基本法の制定 (1993年)
目的 ・現在および将来の国民の健康で文化的な生活の確保に寄与する
・人間の福祉に貢献する

Copyright © NEC Learning, Ltd. 2009

《動作環境》

Windows版 Internet Explorer 6 または7
Adobe Flash Player バージョン9以上

◆主な学習内容

第1章 環境関係法の構成

地球環境問題・地域環境問題
環境関連法規則の体系

第2章 環境基本法

環境基本法の経緯と目的
環境基本法の基本理念
基本的施策

第3章 循環型社会形成推進基本法

循環型社会形成推進基本法の経緯と目的
循環型社会の形成を推進するための法体系
循環型社会形成推進基本法のポイント
事業者の責務

第4章 大気汚染防止法

大気汚染防止法の経緯と最近の動向
大気汚染防止法の目的
各発生施設出施設の責務
事業者などにかかる罰則

第5章 水質汚濁防止法

水質汚濁防止法の経緯と最近の動向
水質汚濁防止法の目的
適用を受ける事業場・主な規制値
事業者の責務・罰則

第6章 土壌汚染対策法

土壌汚染対策法の経緯と目的
適用を受ける事業者および対応の流れ
事業者などにかかる罰則

第7章 廃棄物処理法

廃棄物処理法の経緯と目的
廃棄物の種類
事業者の責務・罰則

第8章 毒劇法

毒劇法の目的
事業者の責務・罰則

第9章 省エネ法

省エネ法の経緯と目的
適用を受ける事業者
事業者の責務・罰則

第10章 化学物質管理促進法 (PRTR法)

化学物質管理促進法の経緯と目的
規制の対象物質

第11章 PCB廃棄物特措法

PCB廃棄物特措法の経緯と目的
適用を受ける事業者
事業者の責務・罰則

★個人から数十人規模でeラーニングを実施したいお客様(配信サービス含む)

■ eラーニングコースのご利用案内

価格は税込価格()内は本体価格)です。

eラーニングコースは、当社Webサイトからお申込みいただくだけで、インターネットを利用して学習できるコースです。

■ eラーニングコース受講料

eラーニングコース コース名	環境マネジメント -ISO14001と企業責任-	環境法令の基礎知識
1カ月、1人あたりの受講料	¥4,935 (4,700)	¥4,935 (4,700)

※大人数でまとめてお申込のお客様は、eラーニングコース・オプションをご利用されると便利です。

オプションのご利用で、お客様専用のコース開催や一括した受講者の進捗管理・成績管理が可能です。

eラーニングコース・オプションの基本料金は、人数分のeラーニングコース受講料の他に初期費用がかかります。

利用人数に応じた割引サービスもございますので、初期費用やeラーニングコース・オプションについて詳しいことは、下記に記載のお問合せ先までお気軽にご連絡ください。

※コンテンツカスタマイズについて

・本リーフレットで紹介したコンテンツは、カスタマイズに対応しております。ご利用の場合、別途、制作期間およびカスタマイズ費用がかかります。

★すでにLMSがお決まりで、コンテンツのみをご利用したいお客様

■ コンテンツ利用のみのご利用案内 (html形式 または SCORM1.2形式)

価格は税込価格()内は本体価格)です。

eラーニングシステム利用料は含まれません。

お客様が利用されている学習管理システム(LMS: Learning Management System)で使用できるかたちにて、コンテンツをご提供いたします。

■ コンテンツ基本料金 (1コンテンツあたりの利用料 + コンテンツカスタマイズ費※)

	利用期間・利用人数	html形式	SCORM1.2形式
		(html および 目次とテスト問題のExcel)	
1コンテンツの利用料 + コンテンツ カスタマイズ費 (5ページ以内)※	3ヶ月 ・ 100名	¥735,000 (700,000)	¥945,000 (900,000)
	3ヶ月 ・ 500名	¥1,050,000 (1,000,000)	¥1,260,000 (1,200,000)
	1年間 ・ 人数無制限	¥1,260,000 (1,200,000)	¥1,470,000 (1,400,000)

※コンテンツのカスタマイズについて

- ・5ページ以内の文章修正は、基本料金で行います。
- ・6ページ以上の文章修正のカスタマイズにつきましては、オプションでご対応いたします。
- ・その他(イラスト追加修正、法律の追加を含むページ追加など)につきましては、別途お見積もりいたします。

※SCORM1.2形式をご利用になられる際の確認事項

- ・提供いたします確認チェックシートに基づいて、お客様のLMSで動作確認をお願いいたします。
- ・imsmanifest.xml の記述に関して指定があればご指示ください。

★コンテンツのカスタマイズをご希望するお客様

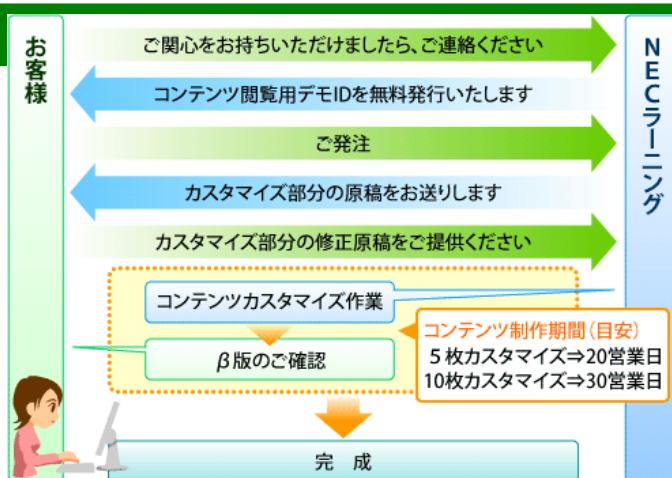
■ コンテンツカスタマイズ時の制作スケジュール(例)

■ カスタマイズスケジュール

カスタマイズ対応コンテンツ制作の流れは、右図のようになっております。カスタマイズの内容により、コンテンツ制作にかかる期間は異なりますので、予めご了承ください。また、教育の実施にあたっては、コンテンツの完成から学習開始までの準備期間をご予定ください。(当社の場合、2週間ほどを見込んでおります。)

※コンテンツ制作期間・カスタマイズ費用について

基本料金の範囲を超えるカスタマイズにつきましては、別途、スケジュール等を含めお見積りをいたします。下記に記載のお問合せ先までお気軽にご連絡ください。



お問い合わせ

NECラーニング株式会社

〒108-0023 東京都港区芝浦三丁目17番12号 (吾妻ビル)

TEL : 03-5232-3059 FAX : 03-5232-3070

Email : custom@educ.jp.nec.com URL : http://www.neclearning.jp/

★このカタログに掲載の製品名、会社名は各社の商標または登録商標です。

★このカタログの内容は改良のため予告なしに仕様・デザインを変更することがあります。ご了承ください。